

明石市議会議員の定数・報酬に関する最終報告案への意見公募結果

1 意見募集の概要

(1) 募集内容：「明石市議会議員の定数・報酬に関する最終報告案」について

(参 考) 現状の議員定数は31人、議員報酬は60万2千円

案1	・議員定数は、現状の31人から2人削減し、29人とする。 ・議員報酬は、特別職報酬等審議会の議論にゆだねる。
案2	・議員定数は、現状の31人から2人削減し、29人とする。 ・議員報酬は、議会独自に議論して減額する。
案3	・議員定数は、現状の31人を維持する。 ・議員報酬は、議会独自に議論して減額する。
案4	・議員定数は、現状の31人を維持する ・議員報酬は、特別職報酬等審議会にゆだねたうえで、その結果に対して議会独自に議論する。

(2) 募集期間：平成25年1月18日から平成25年2月18日まで

(3) 応募方法：郵送、FAX、メール、持参、議会報告会での応募

2 意見募集の結果

合計42件のご意見をいただきました。

(件数)

応募方法	郵送	FAX	メール	持参	議会報告会	合計
件数	7	9	6	2	18	42

3 いただいたご意見に対する市議会の考え方

(1) 定数減の意見

No	いただいたご意見	市議会の考え方
1	<p>市民サービスを削るほど市財政が逼迫しているのなら、議員定数を 31 名から 25～20 名ぐらいまで削減すべきではないだろうか。</p> <p>神戸市の人口は 1,542,230 名で、議員定数が 69 名、一方、明石市の人口は 290,677 名で、議員定数が 31 名。人口比率でいけば約 5 分の 1、議員定数でいけば約 2 分の 1、これはどう考えても多すぎるのではないか。</p> <p>市バスの民間委託など市がやるべき行政サービスを削減していくのなら、市及び市議会議員自ら身をもっと削る努力をすべきではないか。</p>	<p>本市の厳しい財政状況を考慮すると、議会においても何らかの対応をすべきと考えます。一方で、人口規模等を勘案しないで定数を大幅に削減することは、議会の多様性、民意の反映を損なう恐れがあること、また、委員会構成についても問題が生じることから、定数を大幅に削減することは難しいと考えます。</p> <p>なお、全国的に見ると人口規模と議員定数は 1 対 1 の関係で比例しているわけではなく、議員定数は人口規模に応じて緩やかに増加する形になっています。例えば人口 5 万人以下の市の平均議員定数は 19 人、それに対して人口 50 万人以上の政令指定都市では平均 61.5 人となっております。本市の現在の議員定数は、人口規模や財政規模で他市と比較すると若干少ない状況にあります。多様な民意の反映の観点から見て、少なくとも市民 1 万人あたり議員 1 人(議員定数 29 人以上)という水準は確保すべきと考えます。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
2	<p>他市等と比較検討し、それなりの落としどころを考えるのに貴重な時間と労力を使うのは感心しません。ましてや市長にあおられてとは。将来に大きなツケを残す大型事業を、市民との対話もなく、合理的な説明もできず、積極的な情報開示もなく、ひたすら市民を避け逃げ回り、数の力で押し切り進めようとする議会は市民の代表には値しない。したがって、このような情けない議会には、ふさわしい議員数と報酬を用意するのが妥当と考える。</p> <p>①議員定数について 有権者数に応じ（明石市は約23万人）プラスアルファがいい。したがって、「23人+α=25人」でよい。（今後の人口減も考えて） 現状の31人が正しい訳でも何でもない。</p> <p>②報酬について 議員も職員も「民間並みに是正する」ことを基本とするべき。 現在は、職員に応じて決めていると聞いている。（部長級年間約1千万円） 民間全サラリーマンの平均年収は409万円（2011年国税庁調査、男限定でも約500万円）。したがって、民間（男）並みとするため「30%減」を提案する。 （職員現状、12月15日広報約700万円） 政務調査費も、つかみ金ではなく、実費支給とすべき。 議員はボランティア（少額の手当てのみ）でやるべき。（日本初で注目される。）</p>	<p>市民の皆様の厳しいご指摘は市議会として重く受け止め、議会、議員のあるべき姿を実現し、開かれた議会を目指すための取り組みを進める上での議論の参考としてまいります。</p> <p>本市の現在の議員定数は、人口規模や財政規模で他市と比較すると若干少ない状況にあります。多様な民意の反映の観点から見て、少なくとも市民1万人あたり議員1人（議員定数29人以上）という水準は確保すべきと考えます。</p> <p>議員報酬については、議員定数の見直しの議論とも関連するため、議員定数とあわせて判断したいと考えています。いただいたご意見は、議員報酬を議会が独自に減額する場合の議論の参考とさせていただきます。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
3	<p>議員定数、報酬を審議する前提として、債務残高を基本に具体的削減目標も含め、時期の明確化が不可欠である。議員の資質についての問題を解決することを前提として、常任委員会を統合、オール明石で、5人×5委員会と正副議長の2人で合計27人とすべき。</p> <p>議員報酬算定基準は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政務調査費 — 年間100万円 ・ボーナス — 300万円(100%、50%、30%など議員活動に応じる) ・日給月給 — 本会議開催中 1,200万円 ・休会中 — 400万円(50万円×8ヵ月) <p>報酬の総合計は、年間2千万円。</p> <p>ただし、毎改選時と社会情勢に対応、見直しを検討する。</p>	<p>本市の厳しい財政状況を考慮すると、歳出削減は本市の喫緊の課題であり、議会においても何らかの対応が求められています。一方で、議員定数は議会制度の根幹をなすものであり、市の財政状況のみではなく、民意を十分に市政に反映し、議会本来の役割を果たすため、適正な議員数はどうあるべきかなど、総合的な観点から判断したいと考えています。</p> <p>委員会構成については、審査する事務事業の数や審査内容を考えると、現在の4常任委員会制は保持すべきであると考えます。また、委員会では委員間の討議により一定の結論を導くことが基本となるため、最も適した委員数は7～9人と考えます。委員会審査の観点から、4つの常任委員会で、委員数が最低でも7人、それに議長を加えると、議員定数の下限は29人であると考えます。</p> <p>議員報酬については、議員定数の見直しの議論とも関連するため、議員定数とあわせて判断したいと考えています。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
4	<p>議員の定数は人口に対して何人程度が妥当かといった指針があるのか全く分からない。定数を議論する前に基準的な数値を示してほしい。政令市や特例市の数値を挙げても判断はできない。</p> <p>明石市は市民1万人に議員1人を想定して定数削減の提案をされているようだが、これが妥当かわからない。要は議員が市のため、市民のためにどれだけの仕事をしなければならないか、量とともに質も考えるべき。</p>	<p>従前は、地方自治法において、人口に対応した上限定数が定められていました。しかし、平成23年8月の地方自治法改正で議員定数の上限制度が廃止され、議員定数は各自治体の自主的な判断にゆだねられることになりました。</p> <p>法改正前の地方自治法に定められた人口段階別の上限定数は、人口20万人～30万人の市の場合は38人となっており、本市議会はこれに該当します。</p> <p>議員定数の議論においては、改正前の地方自治法の基準も参考にしており、多様な民意の反映の観点から、少なくとも市民1万人あたり議員1人（議員定数29人以上）という水準は確保すべきと考えます。なお、議員活動の質の面においては、今後、議会基本条例の検討を行う中で、市議会の活性化への取り組みを進め、さらなる充実に努めてまいります。</p>
5	<p>月額報酬だけが示され、月収の削減について議論しているが、その他に各種手当や賞与も支給されているはずである。国会議員も月収を示されているが、手当や政党交付金等、諸々を含めると一人あたりの年収は約1億円になるといわれている。年収がどのくらいかを示し、年収に対して削減を議論してほしい。</p> <p>1人あたり60万円程度の月収を少し削減するために、大げさに市民の意見を聞く必要があるのか疑問に思う。削減額から考えても市全体の予算から見ればごくわずかで、そんなことに時間を費やすよりもっと重要な仕事があるのではないか。議員報酬は年収を対象にして削減を進めてほしい。</p>	<p>議員には月額報酬と期末手当が支給されており、その他の手当はありません。現在の議員報酬の年額は、月額報酬、期末手当を合わせて、約1,004万円となります。また、政務活動費が月額8万円支給されていますが、これは議員の政務活動に限定した支出となっており、残余は返還しています。議員報酬の議論においては、報酬の年額も含めて検討してまいります。</p> <p>なお、定数、報酬の検討とあわせて、議会基本条例の制定に向けて議論を進めております。これらの議論を通じて、議会・議員の役割を再認識し、議会のあるべき姿を実現するための体制や仕組み作りを検討しています。今後、議会、議員の役割を十分に果たせるよう、さらなる議会活性化の取り組みを進めてまいります。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
6	<p>見直し案の4案では、案2に賛成する。議会、議員が発議し、かつ減数、減額を前提とするのであれば、議会が最終的に判断すべきだ。</p> <p>1 定数について</p> <p>① アンケート多数意見（25人）への回答は不十分である。委員会構成については、複数所属を十分検討すべきだ。議会の多様性、民意の反映は十分考慮されるべきであるが、また、死票の発生も気になる。</p> <p>② 複数所属により、議員の市政全般へ見識、専門性が高まり、監視機能の強化につながると思う。また、説明では定数の固定化となるため、複数所属を望む。</p> <p>2 報酬について</p> <p>① 年棒制を提案する。現在、60万2千円を基準に、期末手当（賞与）があるが、議員職からすると現状は疑問である。議会活動、議員活動のあり方を含めて検討してほしい。</p> <p>② 年棒制については、第三者機関（例えば特別職報酬等審議会）で審議してください。</p> <p>③ 論点で市民意見の反映（定数ではあり）がない。なぜか。</p>	<p>市民アンケートの結果から、定数を25人とする案についても特別委員会で具体的な検討を行いました。市民の多数のご意見は重く受け止めますが、人口規模等を勘案しないで議員定数を大幅に削減することは、民意の反映を損なう恐れがあることから、定数を大幅に削減することは難しいとの結論に至りました。</p> <p>議員が複数の常任委員会に所属する複数所属制については、議員が市政全般にわたる広範囲の見識を得られるというメリットがある一方で、個々の議員の所管事項が広範囲になり、調査対象事項が大幅に増えるなどの問題があります。複数所属制については、現在の事務事業の数や審査内容を考えると、委員会における専門的な審査を充実させる観点から、難しいと考えています。</p> <p>なお、市民アンケートの厳しい結果については、議会が見えない、議会の活動に満足していないという、議会のあり方に対する厳しい認識の表れでもあると考えます。今後、議会基本条例の検討を行う中で、議会本来の機能を十分に発揮し、市議会のさらなる活性化への取り組みを進め、議会活動が市民の身近なものになるよう努めてまいります。</p> <p>議員報酬については、議員定数の見直しの議論とも関連するため、議員定数とあわせて判断したいと考えています。いただいたご意見は、議員報酬を議会が独自に減額する場合の議論の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、論点には入っておりませんが、報酬についても、市民アンケートの結果の分析等を踏まえて議論をしております。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
7	<p>定数、報酬については、本来であれば市民や第三者が検討委員会を開催して決めるのが妥当である。議員のお手盛りで案を出すのはおかしい。</p> <p>1 議員定数について</p> <p>定数について、市民アンケートでは1469人の回収に対し、定数を少なくする（定数19～25人）は422人（28.7%）、ほぼ現状（定数28人～）の意見は75人（5%）。</p> <p>また、議員数をどう思うかの回答は「多い」が43%、「今のままでよい」が18%、いずれにしても市民は議員の人数は多い、削減するべきとの意見になる。</p> <p>県内29市、特例40市、人口規模からも多い方に位置している。委員会も4委員会にこだわる必要はない。オール明石の考えで議会審議をし、議員個々の資質を高め、効率的な運用をしてほしい。民意を無視した現状の31人または29人の案は、議員の都合としか言えない。</p> <p>2 議員報酬について</p> <p>報酬について、市民アンケートでは61%の人が多いと回答している。議員には次のような手当が支給されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬 62万9,000円（月額） ・期末手当 111万690円（年2回） ・政務調査費 96万円（議員一人当たり年額） <p>報酬の比較も特例40市で多い方から10番目、特例市の平均は54万5千円であり、明石市の報酬は8万円以上高額である。</p> <p>少子高齢化が進むなか、市の財政状況を考えると、議員定数、報酬ともに削減の努力をする必要がある。アンケートで出た民意をしっかりと受け止めるべき。</p>	<p>議員定数については、市民アンケートの結果を尊重して、定数を25人とする案についても特別委員会で具体的な検討を行いました。市民の多数のご意見は重く受け止めますが、人口規模等を勘案しないで議員定数を大幅に削減することは、民意の反映を損なう恐れがあること、また、審査する事務事業の数や審査内容を考えると、現在の4常任委員会制と、最低でも7人の委員数は保持すべきであるとともに、議員が複数の常任委員会に所属することは難しいと考え、委員会構成の面でも支障が生じることから、定数を大幅に削減することは難しいとの結論に至りました。</p> <p>議員報酬については、議員定数の見直しの議論とも関連するため、議員定数とあわせて判断したいと考えています。いただいたご意見は、議員報酬を議会が独自に減額する場合の議論の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、市民アンケートの厳しい結果については、議会が見えない、議会の活動に満足していないという、議会のあり方に対する厳しい認識の表れでもあると考えます。今後、議会基本条例の検討を行う中で、議会本来の機能を十分に発揮し、市議会のさらなる活性化への取り組みを進め、議会活動が市民の身近なものになるよう努めてまいります。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
8	<p>案1に賛成する。</p> <p>市議会が批判される原因の一つは、一般市民にとって議会や議員の活動がよく見えていないからだと思う。議会報告会ははじめ、日常的に市民に対して情報提供や啓蒙活動などが必要かと思う。議員に任せっぱなしで無関心な市民も問題ですが。</p>	<p>市民アンケートでは、議員定数、報酬を減らすべきとの意見が多く出されました。これは、議会が見えない、また、議会の活動に満足していないという、議会のあり方に対する厳しい認識の表れでもあると考えます</p> <p>今後、議会基本条例の検討を行う中で、議会報告会での意見交換や広報広聴機能の充実など、市議会のさらなる活性化への取り組みを進め、議会活動が市民の身近なものになるよう努めてまいります。</p>
9	<p>定数 25 人で、いかに議会運営、議会活動をするかの案を作成してほしい。アンケート結果は市民の貴重な意見である。肯定的な姿勢で考えてほしい。</p>	<p>議員定数については、市民アンケートの結果を尊重して、定数を 25 人とする案についても特別委員会で具体的な検討を行いました。市民の多数のご意見は重く受け止めますが、人口規模等を勘案しないで議員定数を大幅に削減することは、民意の反映を損なう恐れがあること、また、審査する事務事業の数や審査内容を考えると、現在の 4 常任委員会制と、最低でも 7 人の委員数は保持すべきであるとともに、議員が複数の常任委員会に所属することは難しいと考え、委員会構成の面でも支障が生じることから、定数を大幅に削減することは難しいとの結論に至りました。</p>
10	<p>議員定数は 29 人に賛成する。報酬は現状でよい。</p>	<p>いただいたご意見は、議員定数及び報酬についての議論の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>定数減には賛成であるが、議員全員が市民のために行動しているなら、報酬については変更の必要はない。</p>	<p>いただいたご意見は、議員定数及び報酬についての議論の参考とさせていただきます。なお、議会基本条例の検討を進めるなかで、市政の監視や民意の反映など、議会の本務を十分に果たせるよう、議会活性化の取り組みを進めてまいります。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
12	<p>議員定数は1万人あたり1人、29名が妥当と思う。しかし、報酬も含めて、減らせばよいというものではない。市民に聞けば「減らせ」という声が大きいの是一般的であり、あまりその声にとらわれるべきではない。</p>	<p>いただいたご意見は、議員定数についての議論の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、市民アンケートでは、議員定数、報酬を減らすべきとの意見が多く出されました。これは、議会が見えない、また、議会の活動に満足していないという、議会のあり方に対する厳しい認識の表れでもあると考えます。</p> <p>議員定数、報酬については、市民アンケートの結果のほか、民意の反映や市政の監視機能のあり方など、多角的な観点で検討を行い、議会として判断したいと考えます。</p>

(2) 定数現状維持の意見

No	いただいたご意見	市議会の考え方
13 14 15 16 17 18	<p>案3を支持する。 〔同意見は複数あり。〕</p>	<p>いただいたご意見は、議員定数及び報酬についての議論の参考とさせていただきます。</p>
19	<p>多様な市民の意見を反映する議会構成とするために、議員の定数を削減することには反対する。現在も投票率の低下の傾向があり、民意を反映しない議会構成になるとさらに選挙への市民の関心が少なくなる。定員の確保と議員の議会での活動内容の検討や市民参加の拡大など同時にすすむといいと思う。</p> <p>報酬については、報酬審議会という第三者機関を利用しながら、議会で決定されるべきだと思う。</p>	<p>市議会には、市民の多様な声を十分に市政に反映し、二元代表制の下で市政に対する監視機能を果たすという、民主主義を実現するための重要な役割があります。議員定数は議会制度の根幹をなすものであり、議会としての本来の役割を果たすためには、一定の議員数は確保しなければならないと考えます。一方で、本市の厳しい財政状況を考慮すると、歳出削減は本市の喫緊の課題であり、議会においても何らかの対応が求められています。</p>
20	<p>民意の切り捨てになるので、定数削減に反対する。明石の議員は他都市より少ないので削減すべきではない。</p> <p>報酬については、7%減とすれば定数2減に相当する削減効果があるので、妥当ではないか。</p>	<p>議員定数については、民意の反映や市政に対する監視機能の強化、市の財政状況など、様々な観点で検討を行っています。現在、現状維持とする案と、議員定数を削減する案で慎重な議論をしております。</p>
21	<p>私は現在の議員定数を維持するべきだと思う。法律上も他市の例から見ても決して多い数ではない。そして議員というのは市民の意見を代弁する役割があり、人数が減るということはそれだけ意見が届かなくなることになる。議員定数は現状を維持すべきで、削減することに反対である。</p> <p>報酬については議会が自分たちできちんと討議して決めるべきだと思う。様々なことを外部で決める傾向が多いように思うが、そのようなことも自分たちの良識で決められないのでは市民の代表としてどうかと思う。</p>	<p>このたびの市民意見公募の結果も踏まえ、議会として判断したいと考えています。</p> <p>議員報酬については公平な第三者である特別職報酬等審議会の議論が基本であると考えていますが、このたびに限り、議員定数の議論と合わせて、議員報酬を議会自らで判断して議会としての姿勢を示すかどうかの検討しております。いただいたご意見は、議員報酬についての議論の参考とさせていただきます。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
22	<p>駅前再開発の賛否を問う住民投票を市議会で否決されたのはショックだった。市議会は民意を問うことを拒否したと受け取ったからである。少数会派の活躍を願って案4を支持する。最終報告案の概要は、あまりにもチマチマした根拠で、もっと内容のある、考えさせられる表現方法はなかったのか。</p>	<p>市民の皆様の厳しいご指摘は市議会として重く受け止め、議会、議員のあるべき姿を実現し、開かれた議会を目指すための取り組みを進める上での議論の参考としてまいります。</p>
23	<p>議員定数の策定は、一定の算定方法が定められているのではないかと。それが機能できないなら問題ではないかと。定数は現状維持でよい。</p> <p>報酬については、市議会のしかるべき委員会で検討するべき。市議会議員の定数、報酬は、社会、市民の信頼が大事だと思う。</p>	<p>従前は、地方自治法において、人口に対応した議員定数の上限定数が定められていました。しかし、法改正で議員定数の上限制度が廃止され、議員定数は各自治体の自主的な判断にゆだねられることになりました。</p> <p>議員定数については、民意の反映や市政に対する監視機能の強化、市の財政状況など、様々な観点で検討を行っており、現状維持とする案と、議員定数を削減する案で慎重な議論をしています。</p> <p>議員報酬については、公平な第三者である特別職報酬等審議会の議論が基本であると考えていますが、このたびに限り、議員定数の議論と合わせて、議員報酬を議会自らで判断して議会としての姿勢を示すかどうかの検討をしております。</p>
24	<p>議員定数は、何年か前に33人から31人に削減しているが、少なければよいというものではないと思う。住民の声を代表するのが議員であり、少なすぎるということは住民の声が行政に反映されにくくなることである。有権者全員で物事を決めることは一般的にはできない。むしろ、もっと定数を増やし、その分、良識ある範囲での歳費にすればよいと思っている。議員として各々の仕事を全うしてくれることを願う。その上で報酬が高いか安い、もっともっと議論していく必要がある。傍聴した際に、居眠り等をしている人もいて、本当に残念であった。</p>	<p>民意を市政に反映することは、市議会の重要な役割のひとつであり、そのためにも一定の議員定数の確保は必要であると考えます。報酬を減らしてでも議員定数を増やすという案についても検討しましたが、市民アンケートでの厳しい意見や市の財政状況を考えると、現時点で定数を増やすことは市民の理解が得にくいと考えます。</p> <p>なお、議会基本条例の検討を進めるなかで、議会、議員のあるべき姿を実現し、議会の本務を十分に果たせるよう、議会活性化の取り組みを進めてまいります。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
25	<p>議員定数、報酬を減らせという議論が出ているが、それは市民の生活の期待に議員が応えられていないからである。それを利用して減らせ、下げよということだけが実行されようとしているのは憂うべきことだ。期待に応えるためには、特権階級である議員が命を張って生活者のために行動すべきだ。</p>	<p>市民アンケートなどで議員定数、報酬を減らすべきとの意見が多く出されていますが、これは議会が見えない、議会の活動に満足していないという、議会のあり方に対する厳しい認識の表れでもあると考えます。定数、報酬については、市民アンケートの結果のほか、民意の反映や市政の監視機能のあり方など、多角的な観点で検討を行い、議会として判断したいと考えます。</p> <p>今後、議会基本条例の検討を行う中で、議会本来の機能を十分に発揮し、市民の期待に応えることができるよう、活性化への取り組みを進めてまいります。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
26	<p>1 議員定数について</p> <p>市議会は主権者である市民が直接に選挙した議員によって構成されており、主権者である市民を代表する機関である。また、議会は、その権能において行政に対する監視役や立法権などを持つ機関であり、民主主義の根幹を体現する機関でもある。したがって、この機関を構成する議員定数を変更（減員）することにはより慎重でなければならない。仮に2名の削減をしたとして、いかにどの経費が節減されるのか、市政の財政にいかほどの献身が見込まれるのか、民主主義の重要性と比較すればおのずから答えは出る。また人口30万程度の他都市における議員数との比較においても当市は平均値に近い水準にあり、議員定数を変更する理由は全くない。</p> <p>2 議員報酬について</p> <p>議員報酬をいかにするのが適当かという具体的な物差しはなく、しいて言えば公務員の給与水準との比較をする、あるいは、当市と同程度の人口を持つ他都市と比較するくらいでしょうか。昨今、個人所得の減少、国家公務員の給与約7%減額措置などが伝えられています。私見では、現政権は2%の物価引き上げを目標にした経済政策をとっており、物価の上昇が現実の問題となる社会情勢と認識していますので、議員報酬は現状維持でよいと思います。ただ、市民感情を配慮して報酬引き下げをすとしても、公務員に準じた引き下げ幅でよく、決めるべき明確な物差しがない以上、報酬審議会など第三者機関にゆだねるのは問題があるのではないかと。議員自ら責任ある決断を下すべきである。</p>	<p>ご指摘のとおり、市議会には、市民の多様な声を十分に市政に反映し、二元代表制の下で市政に対する監視機能を果たすという、民主主義を実現するための重要な役割があります。議員定数は議会制度の根幹をなすものであり、議会としての本来の役割を果たすためには、一定の議員数は確保しなければならないと考えます。議員定数については、民意の反映や委員会審査の充実、特例市等との比較、本市の厳しい財政状況など、様々な観点から慎重な検討を行い、判断したいと考えております。</p> <p>議員報酬については、これまで第三者機関である特別職報酬等審議会において、職務責任に応じる原則、他の公共団体との均衡の原則、物価などの状況の原則に基づいて議論されています。</p> <p>その基準としては、年収ベースでの部長級職員との均衡を考慮し、また、市長、副市長の改定率等を参考にされています。平成24年4月には、議員報酬について、部長級職員との比較から約4.3%の引き下げが行われています。</p> <p>議員報酬については、公平な第三者である特別職報酬等審議会の議論が基本であると考えていますが、このたびに限り、議員定数の議論と合わせて、議員報酬を議会自らで判断して削減するかどうかを検討しております。いただいたご意見は、議員報酬についての議論の参考とさせていただきます。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
27	<p>「市民1万人あたり議員1人という水準」の根拠はわからないが、民意の反映という意味から、議員定数削減には反対である。この「水準」にてらしても、年間2千万円程度の削減のために、約2万人の声が届かなくなることになる。このことは、市民より財政を優先していると言わざるをえず、「広く市民の意見や提案を聴取する」とことと矛盾する。</p> <p>私は明石市の厳しい財政の原因が市民にあるとの認識はない。市民との接点をより多くするために、むしろ議員数を増やす方向で検討すべきと考える。</p> <p>収入額によって、人の生活意識、目線は変わる。非正規労働の人が多くの割合を占め、就職難やホームレスなど、現状の市民生活の苦しさを考えれば、現議員報酬は多すぎると思う。これでも多いと感じるが「特例市の平均くらい」とすべきである。</p> <p>以上のことから、4つの案からの選択という前提において、案3か案4と考えるが、「報酬等審議会」の方の立場などが詳しくわからないため、案3に賛成する。</p>	<p>市民1万人あたり議員1人の根拠としては、人口規模に応じた議員数として、地域コミュニティの拠点となる小学校区(28校区)の平均人口が約1万人であることを考慮し、多様な地域性の確保の観点から見ても、少なくとも市民1万人あたり議員1人(議員定数29人以上)という水準は確保すべきと考えています。</p> <p>議員定数については、市の財政面だけでなく、民意の反映や市政に対する監視機能の強化など、様々な観点で検討を行い、議会として慎重に判断したいと考えています。</p> <p>なお、議会基本条例の検討の中で、市民との意見交換会や参考人制度の活用などにより、市民の声が今以上に市政に届くよう、議会の活性化の取り組みを進めてまいります。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
28	<p>案3に賛成する。</p> <p>議員定数については、現状維持に賛成する。</p> <p>議員報酬については若干減額してもいいのではないかと思う。</p> <p>財政が厳しいからと言って、市民への負担を増やすことや、サービスを削ることばかりが先行しているように思う。市民の声が届くように、議員定数は減らすべきでないと考えてる。</p>	<p>議員定数については、民意の反映や市政に対する監視機能の強化、市の財政状況など、様々な観点で検討を行っています。現在、現状維持とする案と、議員定数を削減する案で慎重な議論をしており、このたびの市民意見公募の結果も踏まえ、議会として判断したいと考えています。</p> <p>なお、議会基本条例の検討の中で、市民との意見交換会や参考人制度の活用など議会の活性化を進めることにより、一層の民意の反映に努めてまいります。</p>
29	<p>案3を支持する。</p> <p>何のために定数削減を行うのか、根拠が不明確。1～2人削減しても財政にはほとんど寄与しない。市民の意思を市政に反映する民主主義を重視すべきだ。</p> <p>財政問題は、無駄な支出を削減するなど、市政の監視、予算へのシビアな議論が議会の本務である。定数削減によって財政への献身を言うのは本末転倒である。</p>	<p>市政の監視や予算審議等により、的確な市政運営を確保することは、議会の最も重要な使命であると考えます。ご指摘の通り、一般会計に占める議会費の割合は0.69%であり、市の財政規模に比べると議員定数、報酬の削減の効果は限定的なものとなります。</p> <p>議員定数については、現状維持とする案と、議員定数を削減する案で慎重な議論をしており、このたびの市民意見公募の結果も踏まえ、議会として慎重に判断したいと考えています。</p>
30	<p>現状の定数でよい。</p>	<p>いただいたご意見は、議員定数についての議論の参考とさせていただきます。</p>
31	<p>議員としての仕事をしているのなら、議員定数、議員報酬とも現状維持でよい。</p>	<p>いただいたご意見は、議員定数及び報酬についての議論の参考とさせていただきます。</p>

No	いただいたご意見	市議会の考え方
32	<p>二元代表制の監視役である議員数は容易に減らすべきではない。また、報酬削減は、議員専従者にとっては生活に支障が出て、今後議員になりたい人も出てこなくなる恐れがあるため、議員活動に必要な費用は手厚くする等、配慮すべき。議員以外の収入も考慮し、総収入から個別に減額を決めてはどうか。</p>	<p>二元代表制のもと、市議会は市政に対する監視、調査を的確に行い、適正な執行を確保する大きな役割があります。議員定数については、現状維持とする案と、議員定数を削減する案で慎重な議論をしており、このたびの市民意見公募の結果も踏まえ、議会として判断したいと考えています。</p> <p>議員報酬については、公平な第三者である特別職報酬等審議会の議論が基本であると考えていますが、このたびに限り、議員定数の議論と合わせて、議員報酬を議会自らで判断して議会としての姿勢を示すかどうかの検討しております。</p>
33	<p>議員定数は現状の31人でよい。定数を減らすのは反対である。報酬は、5%程度の減額とすればよい。案3がいいと思う。</p>	<p>いただいたご意見は、議員定数及び報酬についての議論の参考とさせていただきます。</p>
34	<p>議員定数は現行の31人を支持する。削減すれば民意の反映を阻害することになる。</p>	<p>いただいたご意見は、議員定数についての議論の参考とさせていただきます。</p>
35	<p>3案、ないし4案を支持する。特例市と比べ、定数が多いとは言えない。しかし、現議員で議会で発言をしない議員もいると聞くので、改善を望む。</p> <p>報酬は税込における報酬費の割合から見て、さらに地方公務員の報酬の削減等総合的に見て判断すべき。</p>	<p>いただいたご意見は、議員定数及び報酬についての議論の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、昨年中の本会議では、すべての議員が質問を行っております。議会基本条例の検討を進めるなかで、本会議や委員会での質問のあり方についても議論をしており、今後、一層の審議の充実に向けて、取り組みを進めてまいります。</p>
36	<p>議員定数、報酬とも多くはない。明石市の将来のため、住民福祉のために頑張ってもらいたい。</p>	<p>いただいたご意見は、議員定数及び報酬についての議論の参考とさせていただきます。</p>

(3) 定数増の意見

No	いただいたご意見	市議会の考え方
37	定数は 35 人、報酬は 5～6 %減を支持する。	いただいたご意見は、議員定数及び報酬についての議論の参考とさせていただきます。
38	民意を反映するため、35～40 人に増やすべき。報酬は、政務調査費もあるので、今よりも減額してもいい。	民意を市政に反映することは、市議会の重要な役割のひとつであり、そのためにも一定の議員定数の確保は必要であると考えます。いただいたご意見は、議員定数及び報酬についての議論の参考とさせていただきます。 なお、報酬を減らしてでも議員定数を増やすという案についても検討しましたが、市民アンケートでの厳しい意見や市の財政状況を考えると、現時点で定数を増やすことは市民の理解が得にくいと考えます。

(4) その他の意見

No	いただいたご意見	市議会の考え方
39	統計的な説明でなく、業務量からの人員の必要数を算出する方法も有効ではないか。報酬については、業務に応じ当然な額を主張すべきで、増額もOKではないか。	議員定数については、民意の反映や市政に対する監視機能、委員会構成など、様々な観点で検討を行っています。 いただいたご意見は、議員定数、報酬についての議論の参考とさせていただきますが、議員報酬については、市民アンケートでの厳しい意見や市の財政状況を考えると、現時点で増額の選択肢は検討しておりません。
40	議員報酬は減額しなくてもよい。	いただいたご意見は、議員報酬についての議論の参考とさせていただきます。
41	最終報告の4つの案が提案されているが、あまり違いが感じられない。このようなことに時間をかけるのではなく、議員として立派な働きができる環境づくりに取り組んでほしい。	定数、報酬の検討とあわせて、議会基本条例の制定に向けて議論を進めております。これらの議論を通じて、議会・議員の役割を再認識し、議会のあるべき姿を実現するための体制や仕組み作りを検討しています。今後、議会、議員の役割を十分に果たせるよう、さらなる議会活性化の取り組みを進めてまいります。
42	市民の意見を重視する「議員の資質を高める」努力を望む。	議会基本条例の検討の中で、議会、議員の役割を十分に果たせるよう、さらなる議会活性化の取り組みを進めてまいります。